



BRL-01/BRL-01N/BRL-04 ファームウェアバージョン5.XX.62p 補足マニュアル

BROADBAND ROUTER

本製品のファームウェアバージョン5.XX.62pより、新機能が追加されました。このマニュアルは付属マニュアルに記載されていない事項について説明いたします。5.XX.62pへファームウェアをバージョンアップされた場合は、本製品付属マニュアルとあわせて本補足マニュアルを参照してください。

本製品を安全にお使いいただくために

警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



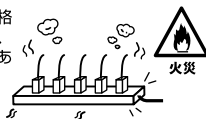
正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



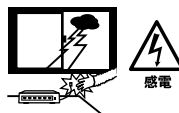
液体・異物はいれないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードをつけて移動しないで！

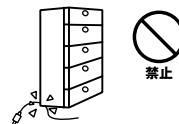
本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する（かじった部分からショートし発火する危険があります）



設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所

- ・直射日光のあたる場所
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・腐食性のガスが発生する場所



◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

目次

本製品を安全にお使いいただくために	2
1. はじめに	
1. はじめに	4
2. PPPoE接続時の切断手順について	4
3. WWW 設定画面へのアクセス	4
2. 簡易インターネット接続設定	
1. 簡単インターネット設定	5
2. 通常のPPPoE接続	6
3. CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス	9
4. PPPoE複数IPアドレス LAN型接続	11

マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

1 はじめに

1. はじめに

本製品はWWWブラウザ経由およびTELNET経由の2つの設定方法があります。このマニュアルではファームウェアバージョン5.XX.62pで追加及び変更されたWWWブラウザ経由の設定方法を説明しています。5.XX.62p 以前のファームウェアをご利用の場合には、製品付属のマニュアルを参照してください。

2. PPPoE接続時の切断手順について

PPPoE 接続した場合、WWW 設定画面の切断手順を踏まずに、ケーブルの取り外しや電源断などを行うとPPPoEセッションがサーバ側に残った状態になります。この状態に陥ると10～20分再接続できなくなりますのでご注意ください。その場合は時間を置いてから再接続をしてください。

3. WWW設定画面へのアクセス

WWW 設定画面へのアクセス方法は、本製品付属マニュアルを参照してください。

2 簡易インターネット接続設定

ファームウェアバージョン5.XX.62pから基本的な設定のみでインターネットに接続する方法を追加しました。ここでは必要最小限の設定でインターネットに接続する方法について説明します。ご利用のインターネット接続サービスに対応した説明を参照に設定してください。

1. 簡単インターネット設定

1. WWWブラウザで設定画面を開きます。

2. [メインメニュー] またはWWWブラウザの画面左側から、[簡単インターネット接続設定]の文字をクリックします。

→ [簡単インターネット接続設定] ページが表示されます。



3. ご利用のインターネット接続サービスのタイプを選択します。

メインメニューに3つの選択肢が表示されます。ご利用のインターネット接続サービスを選択してください。

通常のPPPoE接続

NTT東日本/NTT西日本の「フレッツ・ADSL」や東京めたりっく通信の「Single」サービス、名古屋めたりっく通信の「Home」サービス等のPPPoEプロトコルを使用したインターネット接続サービスをご利用の場合はこちらを選択してください。

2. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

[簡単インターネット設定] - [通常のPPPoE接続]

ログインユーザ名

プロバイダから指定されたPPPoE 接続ユーザ名を、正確に入力してください。以下のPPPoE サービス名が指定されていない場合は "@ "(アットマーク)以下も入力します。(工場出荷時の状態では「your-name」に設定されています。)

例 : nogunogu@planexbrl.ne.jp

注意

最大64 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続ユーザ名はメールアドレス名などと異なる場合があります。

ログインパスワード

プロバイダから指定されたPPPoE接続パスワードを、正確に入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても "*" "(アスタリスク)表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

例 : rYOC0%Mtu

注意

最大32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続パスワードはメールパスワードなどと異なる場合があります。

サービス名

プロバイダから指定されたPPPoEサービス名を、正確に入力してください。特に指定されていない場合は入力する必要はありません。

(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例 : PPPServ

注意

最大32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

サービスオンデマンド

パソコン上でWWWブラウザを起動した場合など、LAN側のパソコンからのインターネット接続要求に応じて自動的にインターネット接続したい場合は、「有効」に設定してください。定額のインターネット接続サービスの場合は「有効」に設定することをお勧めします。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

注意

従量制の場合などで「無効」に設定した場合は、[アドバンスド設定] - [PPPoE接続の診断] ページで手動接続しなければなりません。

自動切断

PPPoEでインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に自動的にPPPoE接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。自動切断したくない場合は、この欄に"0"を入力してください。(工場出荷時の状態では「5」に設定されています。)

例: 3

IPアドレスネゴシエーション

IPアドレスがプロバイダから自動的に割り当てられる場合は「有効」、IPアドレスが固定で割り当てられている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「ルータIPアドレス」も設定してください。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

ルータIPアドレス

IPアドレスが固定で割り当てられている場合に、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

MSS(Maximum Segment Size)

MSS(Maximum Segment Size)値を変更します。通常は工場出荷時の設定(1414)を変更する必要はありません。不用意に変更すると通信ができなくなったり、特定のサイトやアプリケーションが使用できなくなったり、パフォーマンスが著しく落ちますので注意してください。

例: 株式会社セガのDreamcastで『ファンタシースターオンライン』をプレイする場合は、工場出荷時の設定(1414)では動作しません。当社では1400、1300、1200の各値で動作確認を行っています。

注意

株式会社セガのDreamcastで『ファンタシースターオンライン』をプレイする場合は、工場出荷時の設定(1414)では動作しません。当社では1400、1300、1200の各値で動作確認を行っています。

3. 入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)
再起動後にインターネットに接続できます。

3. CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス

[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]では、通常のADSL/CATVインターネットサービスをご利用の場合の設定を行います。

▲ 注意

PPPoE 接続ADSLインターネット接続サービスの場合は、[通常のPPPoE接続]から設定を行ってください。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

2. メインメニューから、[簡単インターネット接続設定]ページ - [CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]を選択します。

[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

[簡単インターネット設定] - [CATVインターネットサービス、その他のADSL
接続サービス]

IP設定の自動取得(DHCP取得)

プロバイダからIPアドレスが自動的に割り当てられる場合は「する」、IPアドレスが固定で割り当てられる場合は「しない」を選択します。「しない」の場合は以下の項目に関しても設定してください。(工場出荷時の状態では「する」に設定されています。)

WAN 側IPアドレス

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例 : 153.16.10.40

WAN 側サブネットマスク

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。(工場出荷時の状態では「255.255.255.0」に設定されています。)

例 : 255.255.255.240

WAN 側デフォルトゲートウェイ

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例 : 153.16.10.36

ドメイン名

特に必要が無い限り設定しません。

ご利用のインターネット接続サービスでドメイン名の設定が必要な場合や、LAN上でドメイン名を使用している場合は、ここにドメイン名を入力します。この設定を行うと本製品のDHCPサーバ機能によってIPアドレスが自動設定される際に、ドメイン名もパソコンに設定されます。

プロバイダからドメインを指定されている場合は、プロバイダから指定されたドメイン名を入力してください。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例 : PLANEX

ホスト名

特に必要が無い限り変更する必要はありませんが、ご利用のインターネット接続サービスによっては、ホスト名の設定が必要になります。この場合はプロバイダから指定されたホスト名を入力してください。(工場出荷時の状態では「br101」に設定されています。)

例 : Mymachine

4. 入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。
「設定を保存して再起動します」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)

4. PPPoE複数IPアドレス LAN型接続

[PPPoE複数IPアドレス LAN型接続]では、PPPoEを使ったインターネット接続サービスで、複数の固定グローバルIPアドレスが利用可能なサービスをご利用の場合の設定を行います。

注意

PPPoE ではないADSL/CATV インターネット接続サービスの場合は、[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]から設定を行ってください。また、IPアドレスが1個しか割り当てられない通常のPPPoE採用インターネット接続サービスの場合は、[通常のPPPoE接続]から設定を行ってください。

複数グローバル IP アドレスサービスの利点

通常のPPPoEインターネット接続サービスではIPアドレスが1個しか割り当てられません。また、PPPoEでプロバイダに接続した際に空いているIPアドレスが割り当てられますので、接続するごとに毎回違うIPアドレスが割り当てられます。これに対し、グローバルIPアドレスが固定的に割り当てられていると、常に同じグローバルIPアドレスでインターネットからアクセスできますので、サーバ公開には必須のサービスです。

PPPoE 複数グローバル IP アドレス接続サービスについて

本製品はファームウェアバージョン5.XX.62p より、「PPPoE複数IPアドレス LAN型接続」に対応しています。

本マニュアルでは、PPPoE 採用ADSL インターネット接続で複数のIP アドレスを提供するサービスを、「PPPoE複数IPアドレスLAN型接続サービス」としております。その他のサービスでは機能しない場合がありますのでご注意ください。

「PPPoE 複数グローバルIP アドレスLAN 型接続サービス」はWWW 設定画面のみで設定可能です。TELNET 設定画面では設定できませんのでご注意ください。

IPアドレスの割り当て方法

プロバイダから複数のグローバルIPアドレスが割り当てられる場合、割り当てられる連続したグローバルIPアドレス空間のうち、最初(ネットワークアドレス)と最後(ブロードキャストアドレス)は、システムで予約されておりホスト(コンピュータ)には使用できません。また、本製品のようなルータに対するIPアドレスも必要になります。従って、お客様のホスト(コンピュータサーバ)で利用可能なIPアドレスは、(プロバイダから割り当てられたアドレス数 - 3)になります。(プロバイダから8個のグローバルIPアドレスが割り当てられている場合は5個が利用可能)

例：プロバイダから153.16.10.40 ~ 153.16.10.47 までのグローバルIPアドレスが割り当てられた場合

- 153.16.10.40・・・ネットワークアドレス(使用不可)
- 153.16.10.41・・・ルータ用(例：本製品LAN側ポート)
- 153.16.10.42・・・お客様ホスト用(例：プライマリDNSサーバ)
- 153.16.10.43・・・お客様ホスト用(例：WWWサーバ)
- 153.16.10.44・・・お客様ホスト用(例：メールサーバ)
- 153.16.10.45・・・お客様ホスト用(例：FTPサーバ)
- 153.16.10.46・・・お客様ホスト用(例：その他サーバ)
- 153.16.10.47・・・ブロードキャストアドレス(使用不可)

注意

一般的にルータ(本製品LAN側)に設定するグローバルIPアドレスは、ネットワークアドレスの次のアドレスにします。プロバイダから指定されていない場合は、特に理由がない限りこのアドレスで設定してください。

本製品の機能

本製品の「PPPoE複数IPアドレス LAN型接続」機能を利用すると、プロバイダから割り当てられた複数のグローバルIPアドレスを持つパソコンを、本製品のLAN側ポートに接続可能になります。さらに、プライベートIPアドレスを持つホスト(パソコン)も接続することができます。

この際、本製品のLAN側ポートはグローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスをそれぞれ1個、合計2つのIPアドレスを保持します。また、WAN側ポートにはIPアドレスは割り当てられておらず、Unnumbered となります。

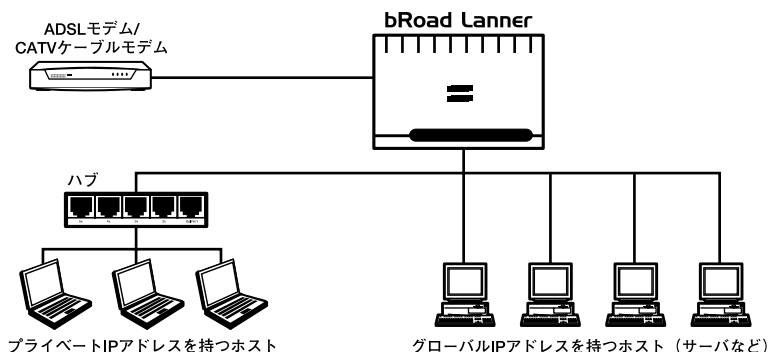


図1-1 PPPoE複数IPアドレス LAN型接続

グローバルIPアドレスネットワーク					
区分	ネットワークアドレス	デフォルトゲートウェイ	各ホストのアドレス	ブロードキャストアドレス	サブネットマスク
IPアドレス	割り当てられたIPアドレス範囲の最初のグローバルIPアドレス	割り当てられたIPアドレス範囲の2番目のグローバルIPアドレス	ユーザ使用可能なグローバルIPアドレス	割り当てられたIPアドレス範囲の最後のグローバルIPアドレス	プロバイダから指定されたサブネットマスク
例: 53.16.10.40~ 153.16.10.45 の6個のグローバルIPアドレスが割り当てられている場合	153.16.10.40	153.16.10.41	153.16.10.42~ 153.16.10.44	153.16.10.45	255.255.265.240

表3-1 グローバルIPアドレス

注意

一般的にルータ(本製品LAN側ポート)に設定するグローバルIPアドレスは、ネットワークアドレスの次のアドレスにします。プロバイダから指定されていない場合は、特に理由がない限りこのアドレスで設定してください。

プライベートIPアドレスネットワーク					
区分	ネットワーク アドレス	デフォルト ゲートウェイ	各ホストの アドレス	ブロードキャスト アドレス	サブネットマスク
IPアドレス	任意のネットワー クアドレス	任意のデフォ ルトゲートウェイ	任意	任意のブロード キャストアドレス	任意のサブネッ トマスク
例: 19.168.1.0/24プ ライベートアドレ ス空間を使用する 場合	192.168.1.0	192.168.1.1	192.168.1.2~ 192.168.1.254	192.168.1.255	255.255.255.0

表3-2 プライベートIPアドレス

ホスト（コンピュータ・サーバ）の設定

本製品の複数グローバルIPアドレスLAN型接続機能（NAT & スルー）を利用する場合、LAN 側ポートに接続したホスト（パソコン・サーバ）のネットワーク設定は次のようになります。

グローバルIPアドレスのコンピュータ

<IPアドレス>

プロバイダから割り当てられたIPアドレス空間のうち、利用可能なグローバルIPアドレス（本製品LAN 側ポートに設定するルータアドレスを除く）

例：153.16.10.41

<サブネットマスク>

プロバイダから指定されたサブネットマスク

例：255.255.255.240

<デフォルトゲートウェイ>

割り当てられたIPアドレス範囲の2番目のグローバルIPアドレス（＝本製品LAN 側ポートに設定したグローバルIP アドレス）

例：153.16.10.41

プライベートIP アドレスのコンピュータ(本製品のDHCP サーバ機能を利用しない場合)

<IPアドレス>

任意のIP アドレス

例: 192.168.1.1

<サブネットマスク>

任意のサブネットマスク

例: 255.255.255.0

<デフォルトゲートウェイ>

本製品LAN 側ポートに設定したプライベートIP アドレス

例: 192.168.1.1

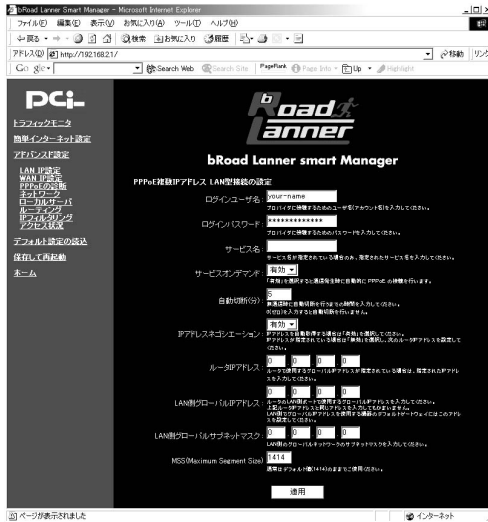
プライベートIP アドレスのコンピュータ(本製品のDHCP サーバ機能を利用する場合)

各パソコンのDHCPクライアント機能を有効(IPアドレスを自動的に取得する)にするだけで設定完了です。

本製品の「PPPoE複数IPアドレスLAN型接続」の設定方法

1. WWWブラウザで設定画面を開きます。
2. メインメニューから、[簡単インターネット接続設定]ページ - [PPPoE複数IPアドレスLAN型接続]を選択します。

[PPPoE複数IPアドレスLAN型接続]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)
[簡単インターネット接続設定]ページ - [PPPoE複数IPアドレスLAN型接続]

ログインユーザ名

プロバイダから指定されたPPPoE接続ユーザ名を、正確に入力してください。以下のPPPoEサービス名が指定されていない場合は”@”(アットマーク)以下も入力します。(工場出荷時の状態では「your-name」に設定されています。)

例：nogunogu@planexbrl.ne.jp

注意

最大64文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続ユーザ名はメールアドレス名などと異なる場合があります。

ログインパスワード

プロバイダから指定されたPPPoE接続パスワードを、正確に入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても”*(アスタリスク)表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

例：rYOC0%Mtu

注意

最大32文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続パスワードはメールパスワードなどと異なる場合があります。

サービス名

プロバイダから指定されたPPPoEサービス名を、正確に入力してください。とくに指定されていない場合は入力する必要はありません。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例：PPPServ

注意

最大32文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

サービスオンデマンド

コンピュータ上でWWWブラウザを起動した場合など、LAN側のコンピュータからのインターネット接続要求に応じて自動的にインターネット接続させる場合は、「有効」に設定してください。「PPPoE複数IPアドレスLAN型接続」の場合は、「有効」に設定することをお勧めします。（工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。）

注意

従量制の場合などで「無効」に設定した場合は、[アドバンスド設定] [PPPoEの診断] ページで手動接続しなければなりません。

自動切断(分)

PPPoEでインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に自動的にPPPoE接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。自動切断したくない場合は、この欄に「0」を入力してください。複数グローバルIPアドレスLAN型サービスの場合は、「0」を入力して自動切断しないことを推奨します。（工場出荷時の状態では「5」に設定されています。）

例：0

IPアドレスネゴシエーション

プロバイダからルータのアドレスを指定されている場合は「無効」、指定されていない場合は「有効」を入力してください。（工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。）

ルータIPアドレス

プロバイダからルータアドレスを指定されている場合はそのアドレス、指定されていない場合は「0.0.0.0」を入力してください。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：153.16.10.41

LAN側グローバルIPアドレス

プロバイダからルータアドレスを指定されている場合はそのアドレス、指定されていない場合は割り当てられたアドレス範囲の2番目のグローバルIPアドレスを入力してください。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：153.16.10.41

LAN側グローバルサブネットマスク

プロバイダからルータアドレスを指定されている場合は、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例: 255.255.255.240

MSS(Maximum Segment Size)

MSS(Maximum Segment Size)値を変更します。通常は工場出荷時の設定(1414)を変更する必要はありません。不用意に変更すると通信ができなくなったり、特定のサイトやアプリケーションが使用できなくなったり、パフォーマンスが著しく落ちますので注意してください。

例: 株式会社セガのDreamcastで『ファンタシースターオンライン』をプレイする場合は、工場出荷時の設定(1414)では動作しません。1400、1300、1200の各値で動作確認を行っていますので、このなかでできる限り大きい数値を設定してください。

注意

MSS値はインターネット接続スピードのパフォーマンスに影響を与えます。アプリケーションの都合でMSS値を変更する場合は、そのアプリケーションの許容範囲の最大値を入力してください。
(1414以上は指定しないで下さい)

4. 入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)

<http://www.planex.co.jp/>